＜第４０６９回＞
目的地：紅葉の千畳敷・木曽駒・宝剣（中央アルプス）
担当者：田名部大一・眞鍋美和
実施日：2020 年 10 月 2 日(金)～10 月 4 日(日)
形　式：旅館泊　（レンタカー利用）
費　用：¥40,400 円
参加者：　4 名　　今道春雄・中村博一・眞鍋美和（SL）・田名部大一（PL）

行　程：
10 月 2 日　天気：晴れ
新大阪(8:55)⇒(11:00)養老 SA(11:15)⇒(12:30)阿智 PA(12:45)⇒(13:20)明治亭中央アルプス登山口店〔ランチ〕(14:00)⇒菅の台バスセンター(14:12)⇒バス⇒(15:07)しらび平駅(15:18)⇒ロープウェイ⇒(15:28)ホテル千畳敷(泊)

10 月 3 日　天気：晴れ
ホテル千畳敷(7:50)→(8:50)乗越浄土(8:55)→(9:00)宝剣山荘→(9:30)宝剣岳(9:40)→宝剣山荘(10:00)→(10:15)中岳(10:30)→(11:05)木曽駒ヶ岳(11:35)→中岳(12:10)→(12:30)宝剣山荘(12:40)→乗越浄土(12:45)→(13:35)千畳敷駅〔ランチ〕(14:20)⇒しらび平駅(14:50)⇒バス⇒(15:25)菅の台バスセンター(15:40)⇒(16:30)湯元ホテル阿智川

10 月 4 日　天気：晴れ
湯元ホテル阿智川(6:00) ⇒(6:25)ＪＲ天竜駅(6:25)⇒(7:00)朝市(7:50)⇒(8:00)ホテル朝食(9:00)⇒(9:40)ＪＲ天竜舟下り弁天港(9:50)⇒(10:30)時又港(10:35)⇒(10:55)弁天港(11:00)⇒(11：15)斉藤農園リンゴ狩り(12:30)⇒ＪＲ飯田駅(12:55)⇒恵那 SA(13:55)⇒多賀 SA⇒(17:40)新大阪[解散]

感　想：

第一日　新大阪発、おざなりの SA ではなく、地元の B 級グルメ「ソースかつ丼」とし、専用ソースを生産している「明治亭」で昼食をとる。
川に張り出した涼しいテラス席があり、屋根には川の水を流し涼しさを増していた。
オーダーのソースかつ丼が供卓されたときには、見た目に圧倒されたが、多少時間が遅くなったこともあり、全員完食する。
バス、ロープウェイと繋ぎ、山上駅と棟続きのホテル千畳敷にチェックインする。
山上駅周辺は、下山者が多く滞留しており、ロープウェイはピストン運転、お陰で上りの私達は貸切り状態で乗車できた。
平日にもかかわらず、下りは 1 時間待ちと混雑しており、翌日(土曜)の混雑具合が気になる。
チェックイン後夕食まで、カールや南アルプスを眺め、記念撮影し夕食前に入浴する。
夕食後は、十六夜の月を部屋から鑑賞し、しばしのお月見団子タイムを取った。

第二日　5 時半、素晴らしい朝焼けが見られた。撮影に現れたホテル従業員によると、かなりきれいな朝焼けとの事であった。ロープウェイの始発は 6 時であることから、朝焼け・日の出・モルゲンロートは、宿泊者へプレゼントであろう。（ホテルの設備、料理的には、比較的高額であったが景色込みなら妥当か）
日の出は北岳付近より昇り、ホテルの反対側に廻ると、宝剣岳がモルゲンロートに染まっていた。
モルゲンロートは短時間で終了し、私の記念撮影は、ただの宝剣岳バックの写真になってしまった。
（数分前の眞鍋さんの写真には綺麗に写っていたのに）
1 月 1 日、2 日の日の出は、富士山頂からであり、ダイヤモンド富士が見られるとのことであった。
6 時の始発より、ロープウェイは増発されており、続々日帰り客が上ってきた。
菅の台バス乗り場では早朝より 1 時間程度の乗車待ちが発生しているとのことであった。
朝食後早々に出発、順調に乗越浄土に到着。時間を追って登山者が増える事を予想し、先に宝剣岳を往復する。その間、大事を取って今道氏は宝剣山荘で待機いただく。
宝剣岳往復を早めとしたが、それでも鎖場では渋滞が発生し、頂上は混雑していた。山頂は狭く、個人別の記念撮影に止め、早々に下山する。昼過ぎの往復ではかなりの待ち時間が発生したようであろう。
宝剣山荘で合流後、終始、東には富士山と南アルプス、南には空木岳・御嶽を背にし、中岳、木曽駒ヶ岳へ向かう。
当初は、宝剣山荘での昼食を予定していたが、ロープウェイの待ち時間に駅レストランでの食事に変更し千畳敷カールを下る。

予想通り、駅では整理券が配布されており、約１時間の待ち時間であり、待ち時間にホテルレストランでカレーライスを食した。
以降は、ロープウェイ、バス、高速道路は順調に運び、昼神温泉のホテルにチェックイン、夕食前に温泉に入浴出来た。
夕食後は、GoTo キャンペーンクーポンの余りで購入した日本酒で歓談後、再度入浴する。
昼神温泉は強アルカリ性を誇る日本屈指の「美人の湯」であり、紅一点〇〇さんは、素肌を磨き滑らかに、加えてナトリウムイオンでしっかり保湿され、さらにお綺麗になられたであろう。きっと！　多分！

第三日　朝食前、かつて（戦時中）住まわれていた伊那福岡で記憶を手繰りに行かれる今道氏を JR 天竜駅に送り、昼神温泉朝市を訪ねる。珍しいキノコや果物を求め、ホテルに帰館、朝食後「天竜下り」弁天港に向かう。
好天続きで水量は最低との事で、船底を擦る所もあり、波シブキの迫力は今一つであったが、トンビやカモに餌をやりながら「天竜下り」を楽しむ。時又港到着後マイクロバスで弁天港に戻り、今例会最後のイベント、リンゴ・梨狩り「斉藤農園」に向かう。
リンゴ３種類、梨２種類、柿１個を何とか片づけるも、昼食は見送ることとなった。
それぞれ、お土産を買い求め（箱買いし送る方やお嬢様の希望で梨を求める方あり）、JR 飯田駅で今道氏を PickUp、飯田 IC より高速道路に乗る。渋滞は全く無く、予定より早く新大阪着。

当初の予定を全う出来たのは、終始天候に恵まれたことと、参加いただいた方々がスケジュール通りに行動いただいた事に寄ります。

特　記：
・宝剣岳はヘルメット推奨であったが、着用は少なかった。
・紅葉時期等最盛期、駐車場・バス・ロープウェイは早朝より 1～2 時間待ち。
・全食事・飲料を会費で賄った。本来５万５千円が GoTo キャンペーンにより押さえられた。
・リンゴ・梨は食べ放題でも、そんなには食べられない。